

2013年度

瀬戸内圏フィールド科学教育研究センターフォーラム

地域のフィールドの問題を解決！

地域の野良ネコ問題 について考える

広島県は、イヌとネコの年間殺処分数が全国でワースト1位となっている。また野良イヌや野良ネコによる様々な被害も多発しており、住民間でのトラブルに発展するケースも増えている。本フォーラムの講演者である横浜市職員・獣医師の黒澤氏は、野良ネコ問題を解決するための方策として「地域ネコ」の取り組みを、全国の行政に先がけて発案実施された方です。

黒澤 泰氏の プロフィール

1979年に麻布獣医科大学獣医学部獣医学科を卒業後、横浜市役所に勤務し、動物愛護指導員として地域で発生する動物問題を解決するために最前線で活躍。1995年に磯子保健所への移動を期に、人と猫が共存できる街作り事業を展開し、「地域猫」の考え方を全国で初めて行政として発案実施する。1995年に「地域猫のすすめ」を出版。

2013. 11.29(金)

時間: 15時～17時

参加費: 無料

入場無料
定員70名

会場: 広島大学

生物生産学部C201教室

所在地: 東広島市鏡山1-4-4



このフォーラムは、5研究科共同セミナーになります。学内の大学院生の皆さんもぜひご参加ください。

(世話人: 谷田 創 082-424-7974)